

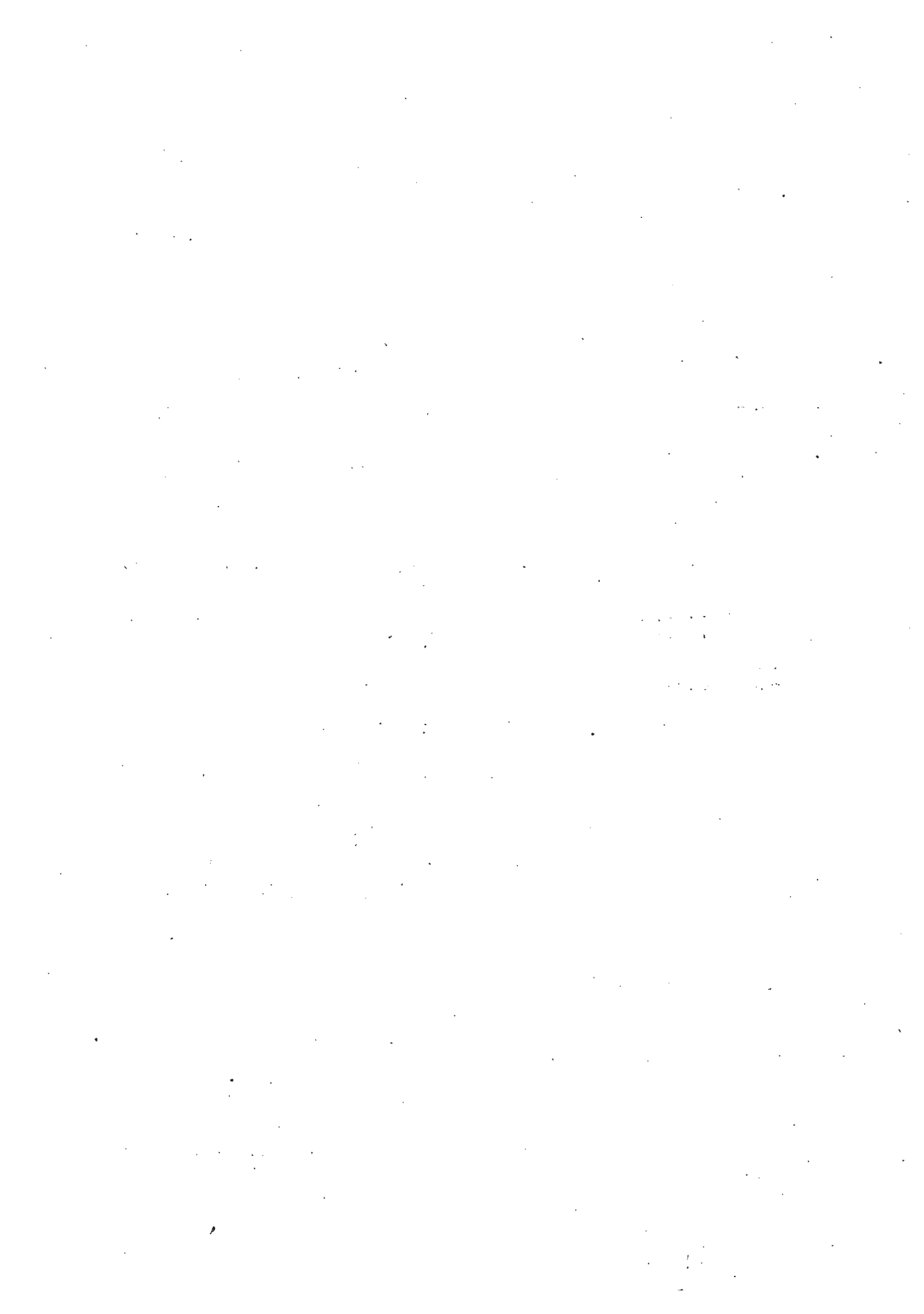
## 緒 言

福井縣統計書ハ縣下行政其ノ他各般ノ統計ヲ蒐集シ既往現在ノ狀勢ヲ大觀セムカ爲毎年之ヲ刊行シ今ヤ昭和五年ノ統計書ヲ編纂スルニ至レリ本書編ヲ分ツニ其ノ一ヲ「土地戸口等」其ノ二ヲ「學事」其ノ三ヲ「産業」其ノ四ヲ「警察衛生等」ト爲ス

各編收録スル資料ハ主トシテ市町村及學校ノ報告並廳内ノ調査ニ依リ或ハ關係官公署會社等ノ供給ニ求メタルモノアリ蓋シ世運ノ推移學術ノ進展ニ基キ統計ノ用益多キヲ加フ是ヲ以テ調査ノ正確ヲ期スルト共ニ表章方法ヲ更メ或ハ新ニ收録シタルモノ尠シトセズ然リト雖尙遺憾ナキヲ保セザルニ依リ漸次之ガ改善ニ努メ時世ノ要求ニ應ゼシムル所アラムトス

昭和七年二月

福井縣知事官房



昭和五年 福井縣統計書

第四編(警察衛生等)目次

總說	1	39 貸座敷及藝娼妓數	24
<b>警 察</b>		40 演劇興行	24
1 警察部職員配置(現員)	3	41 寄席興行	24
2 警察署職員配置(定員)	3	42 活動寫真興行	24
3 警部補巡查勤續年數及俸給	3	43 質屋及質物	25
4 警部補退隱料遺族扶助料及諸給	4	44 質屋及古物商取締法ニ依ル徵收物件	25
5 巡查退隱料遺族扶助料及諸給	5	45 集會及結社	25
6 巡查採用及教習	5	46 宿屋宿泊人員	26
7 警察上ノ賞與	5	<b>衛 生</b>	
8 警察共濟組合救濟金	6	47 醫 師	26
9 警察上死傷者	6	48 齒科醫師	27
10 警察電話	7	49 藥劑師藥種商製藥者及阿片販賣者	28
11 令狀執行件數	7	50 賣 藥	28
12 諸犯罪罪及檢舉ノ一(發生及檢舉件數)	8	51 入商抜齒口腔治療接骨及鍼灸按摩	29
13 諸犯罪罪及檢舉ノ二(檢舉人員)	8	52 看護婦	29
14 諸犯罪罪及檢舉ノ三(檢舉件數)	9	53 産婆看護婦理髮試驗	30
15 未成年者喫煙禁止法違反	9	54 産 婆	30
16 檢 視	10	55 鍼術灸術按摩術試驗	30
17 檢 舉	10	56 トラホーム檢診成績	31
18 檢視者及檢證者	11	57 トラホーム患者	31
19 盜 難	11	58 トラホーム患者治療	32
20 盜難物	12	59 結核健康診斷成績	32
21 盜難物發見	12	60 傳染病患者	33
22 賊捨置物	13	61 傳染病患者死者年齡別	33
23 變 死	13	62 娼妓健康診斷	34
24 自殺者	14	63 花柳病患者	34
25 自殺者ノ年齡及因由別	15	64 中 毒	36
26 救 護	16	65 屠殺検査	36
27 密賣淫及媒介容止者處分	16	66 衛生試驗	37
28 行政執行處分	17	97 病 院	37
29 說諭及保護	17	68 病院患者病類別	38
30 取締諸營業者數	18	69 傳染病院及隔離病舎	39
31 遺失物處分	18	70 藥品巡視	38
32 火 災	20	71 種痘ノ一(第一期)	40
33 火災原因	20	72 種痘ノ二(第二期)	40
34 火災損失及死傷	21	73 娼妓病院	41
35 消防組	22	74 衛生ニ關スル諸犯罪處分別	41
36 銃砲及火藥類免許賣買	22	75 死亡總數ト結核病死亡者數トノ比較	42
37 狩獵免狀下附人員	23	76 マラリヤ患者年齡別	43
38 捕獲鳥獸數	23	77 マラリヤ治療方法別	43

工 場

78 工場臨検.....44

79 適用工場数年次比較.....44

80 警察署別適用工場数.....45

81 警察署別適用工場職工数.....46

82 事業ノ性質危険又ハ衛生上有害ナル工場数年次比較.....48

83 事業ノ性質危険又ハ衛生上有害ナル工場ノ職工数年次比較.....48

84 寄宿舎ノ設アル適用工場及寄宿職工数年次比較.....49

85 工場災害調.....50

86 職工扶助金額調.....52

87 工場主ノ管理スル職工貯蓄金調.....52

88 工場法違反調.....53

89 取締原動機.....53

90 動力傳導装置ニ因ル災害.....53

健康 保 險

91 保険經濟収支状況調.....54

92 工場事業場及被保險者数.....54

93 業態別工場事業場及被保險者数.....55

94 保額給付.....55

95 傷病類別療養件数日数及休業日数ノ一(業務上).....56

96 傷病類別療養件数日数及休業日数ノ二(業務外).....56

97 死亡原因病類別調.....57

雑

98 新聞紙.....58

# 總 說

## 警 察

### 警 察 區 劃

昭和五年末現在ニ於ケル縣警察行政區劃ハ其ノ監督廳タル警察部ノ下ニ警察署十三、警部補派出所三、巡查部長派出所十六、巡查派出所二十三、巡查駐在所百五十九ヲ置キ一市百七十八箇町村ノ警察事務ヲ管理セシメ以テ公共ノ安寧秩序ヲ保持シ縣民ノ幸福維持ニ努メツアリ

### 警 察 官 吏

昭和五年末現在ノ警察官吏ハ警察部長一名、警視四名、警部二十一名、警部補三十名、巡查部長七十五名、巡查四百三名ニシテ前年ニ比シ増減ナシ

### 巡 査 勤 績 年 數

昭和五年末總數四百七十八名ヲ其ノ勤績年數別ニ觀レバ五年以上十年未満百七十三名(三割六分)最多ニシテ之レニ亞クハ十年以上十五年未満九十六名(二割)三年以上四年未満四年以上五年未満モノ各三十七名(七分七厘)十五年以上二十年未満十五名(三分一厘)二十五年以上十三名(二分七厘)一年未満二十四名(五分)等ナリ

## 火 災

昭和五年中ノ火災發生度數ハ 284 件ニシテ失火ハ 262 件(9分3厘)ヲ占メ放火 17 件(6厘)雷火及不審火 2 件ナリ而シテ延焼セシ度數 54 件延焼セザリシ度數 91 件直ニ消止メ度數 137 件ナリ、火災ニ罹リシ軒數ハ 357 件内全戸焼失 277 件其焼失坪數 6,729 坪 5 損失財產見積格ハ 614,668 圓ニ達ス更ニ之ヲ原因別ニ見レバ炬燵ノ不始末 43 件(1分5厘)焚火ノ不始末 38 件(1分3厘)取灰ノ不始末 28 件等重ナルモノトス

## 消 防 組

昭和五年末現在ノ消防組ハ 173 組部數 574 部人員 19,745 人ニテ組織ス、前年末ニ比スレバ組數 1 部數 6 人員 115 名ヲ増シ瓦斯倫啣筒ニ於テ 27 台ヲ増加セリ

## 狩 獵

昭和五年中ニ狩獵免許狀ヲ下付セシ人員ハ 1 等 1 人 2 等 11 人 3 等 612 人ナリ而シテ甲種 207 人、乙種 417 人ナリ、又捕獲セシ鳥類ハ 307,848 羽、價格 65,255 圓 46、獸類 6,404 頭價格 25,550 圓ヲ算シ其ノ鳥獸類ノ重ナルモノハつぐみ、しろばら、まみちやじない、あと、ひは、兎、いたち等トス

## 衛 生

### 醫 師

昭和五年末現在ニ於ケル醫師ノ總數ハ三百九十二人(内女醫師九人)ニシテ醫師一人ニ對シ現在人口ハ千五百七十七人ニ當レリ而シテ之ガ分布狀況ヲ觀ルニ福井市九十九人、今立郡四十八人、敦賀郡二十九人、南條郡二十七人ハ多キ地方ニ屬シ大飯郡六人が最モ多シ之レヲ經歷別ニ觀レバ大學卒業六十五人(一割六分)官公立專門學校二百七十七人(五割五分)試驗及第九十一人(二割三分)ナリ

### 齒 料 醫 師

昭和五年末現在ニ於ケル齒科醫師總數ハ八十四人(内女齒科醫師三人)ニシテ前年ニ比シ七人増加セリ其ノ經歷ハ官公立私立專門學校卒業四十八人試驗及第三十五人ナリ

### ト ラ ホ ウ ム 檢 診

昭和五年中ニ於ケル「トラホーム」檢診人員ハ五萬三千八百六十七人内患者ト決定セル人員六千四百四十八人ニシテ檢診人員百ニ對スル患者ノ百分比ハ十一人九(前年ハ十四人三)ノ割合ナリ患者ト決定セル人員中重症千二百十三人(一割九分)輕症四千三百五十四人(六割七分)疑似症八百八十一人(一割四分)ナリ

### 傳 染 病 患 者

昭和五年中ニ於ケル傳染病患者數ハ二百五十三人ニシテ前年ヨリ三十一人増加セリ而シテ腸窒扶斯最モ多ク百十六人(四割六分)ヲ占メ實扶埜里亞百八人(四割三分)之ニ次キ赤痢十六人(六分)バラチブス八人(三分)傷紅熱五人(二分)ナリ又患者百人中死亡率ヲ觀レバ次ノ如シ

腸窒扶斯	29.3	實扶埜里亞	20.3
赤 利	56.2	バラチブス	12.5
傷 紅 熱	—		

### 花 柳 病 患 者

昭和五年中病院又ハ開業醫ニ於テ取扱ロタル花柳病患者ハ七千七百十三人ニシテ内男四千九百七十三人(六割四分)女二千七百四十人(三割六分)ナリ之ヲ前年ニ比スレバ男六百二人(一割一分)ヲ減シ女三百七十二人(一割六分)ヲ増加シ總數ニ於テ二百三十人(二分九厘)減少セリ更ニ病類別ニ觀レバ發癩二千三百十二人(二割九分九厘七)淋病三千六百八十九人(四割七分八厘)軟性下疳一千七百十二人(二割二分二厘)ナリ

### 病 院

昭和五年末現在病院數ハ十二ニシテ年内患者總人員ハ五萬六千七百五十三人ニシテ前年ニ比シ二百八人ヲ増加セリ患者ヲ病類別ニ觀レバ神經系及五管病一萬八百四十七人(一割九分一厘)最モ多ク呼吸器病ノ一萬一千四百八十四人(二割二厘)消化器病ノ一萬三千九十九人(一割八分二厘)之ニ亞ギ泌尿及生殖器病九千九十九人(一割六分)ヲ主ナルモノトス而シテ呼吸器病ノ内肺病ハ九百六十七人ナリ

## 工 場

### 適用工場及職工

昭和五年十月一日現在ニ於ケル工場法適用工場ハ一千六百三十三ニシテ内工場法施行規則第二十七條ニ依ル法ノ一部適用工場六百二十八アリ。又之ヲ業務分類ニ見ルニ染織工場ハ一千二百九十八ニシテ總數ノ六割九分強ヲ占メ機械器具工場ハ六十(總數ノ三分六厘)化學工場ハ七十九(總數ノ四分八厘)飲食物工場ハ八(總數ノ五厘)雜工場ハ百三十三(總數ノ八分一厘)特別工場ハ五十四(總數ノ三分三厘)ニシテ前年同期ト比較スルニ總數ニ於テ二十一工場ノ増加ナルモ業務別ニ比較スルニ染織工場ハ四十二工場ノ増加ナリ而シテ機械器具工場ニ於テハ六工場、飲食物工場ニ於テハ二工場、雜工場ニ於テハ十四工場各減少シ化學工場及特別工場ニ於テハ何等ノ増減ナカリキ上記ノ如ク染織工場ニ於テノミ増加ヲ來シタルハ十人未滿ノ使用工場タル工場法一部適用工場ニ於テ増加シタルモノニシテ工場法ノ全部適用工場ニ於テハ却テ四十八工場ノ減少ナリ。如斯全部適用工場ニ於テノ減少シタルニ不拘全体トシテ増加シタルハ米價暴落ノ影響ヲ受ケ農家ガ副業的ニ職工一二名ヲ使用スル小工場ヲ經營スルモノ簇出シタルニ依ルモノト思惟セラル

尙之等工場ニ使用セラルル職工數ヲ見ルニ總職工二萬九千九百九十二人ニシテ前年ニ比シ一千二百四十三人ノ減少ニシテ之ヲ業務別ニ見ルニ染織工場職工數二萬六千七百九十五人ニシテ前年同期ヨリ一千百十二人ノ減少ナリ機械器具工場ハ三百六十二人ニシテ六十五人ノ減、化學工場一千二百八十人ニシテ二十五人ノ減、飲食物工場六十二人ニシテ十五人ノ減、雜工場四百六十人ニシテ二十九人ノ減、特別工場二百五十八人ニシテ三人ノ増加ナリ上述ノ如ク工場ノ増加ニ比シ職工數ニ於テ減少シタルヲ見レバ打續ク財界不況ノ影響ニ依リ法第一條ノ適用工場ニ於ケル事業ノ縮少ニ因ルモノナラム

### 工場災害

昭和五年中ニ於ケル工場災害中職工ノ死傷總數ハ二百三十五人内死亡男二人負傷男二百二人女廿一人ニシテ前年ト比較セバ死亡ニ於テ二人減シタルモ負傷ニ於テ十人ノ増加ヲ見タリ

### 職工扶助金額

昭和五年中ニ於テ工業主カ職工ニ扶助シタル金額ハ總額一千九百九十五圓二十八錢ニシテ之ヲ前年ニ比較スルニ三千二百四圓三十八錢ノ減少ナリ之前年ヨリ死亡二名少カリシト身体ニ傷害ヲ貽シタル程度ノ負傷者少カリシニ依ル

## 原 動 機

昭和五年末現在ニ於ケル原動機取締規則ニ依ル原動機總數四千四百十四箇馬力數二萬九千三馬力ニシテ前年ニ比シ二百三十三箇四百十七馬力ノ増加ナリ

## 健 康 保 險

### 被 保 險 者

昭和六年三月末ニ於ケル管内政府管掌被保險者ノ總數ハ二萬三千七百八十四人ニシテ本年度内ニ新ニ雇入其ノ他ノ事由ニ依リ増加セル者一萬一千八百五十人、解雇其ノ他ノ事由ニ依リ減少セルモノ一萬八百八十五人ニシテ差引前年度三月末ニ比シテ千六百六十五人ヲ増加シタリ。之ヲ標準報酬等級別ニ觀ルトキハ三級者(日額四十五錢以上五十五錢未滿)最モ多ク總數ノ二割一分ヲ占メ次テ四級者(日額五十五錢以上六十五錢未滿)ノ二割、五級者(日額六十五錢以上七十五錢未滿)ノ一割四分順次之ニ亞キ十六級者(日額三圓七十五錢以上)ハ僅ニ一名アルノミナリ

### 工場事業場及事業

昭和六年三月末現在ニ於ケル健康保險事業關係工場事業場及事業數一千七ニシテ前年度末ニ比シ七テ増加セルモノナルガ工場ノ大部分ヲ占ムルハ染織工場ノ七百十六ニシテ總數ノ七割二分ニ當リ織物業ハ其ノ九割二分ヲ占メ僅少ナルハ飲食物工場ノ八ナリ

### 保 險 料

昭和五年度ニ於テ徵收シタル保險料ノ總額ハ二十三萬一千九百八十六圓ニシテ前年度ニ比シ二萬八千三百三十五圓ノ減額ヲ見タルハ主トシテ保險料算出ノ基礎タル被保險者報酬日額ガ財界不況ノ影響ヲ受ケ著シク低額シタル爲ナリ

### 保 險 ノ 成 績

昭和五年度ニ於ケル保險給付ノ總件數ハ八萬六百六十三件ニシテ之ニ要シタル給付額ハ三十三萬二千八百四十四圓ナリ。之ヲ前年度ニ比スレバ件數ニ於テ七千四百三十九件金額ニ於テ一萬二百四十一圓ヲ増加セリ

總シテ管内ハ製織工場多數ナルヲ以テ被保險者女ガ其ノ總數ノ約八割ヲ占メ然モ有夫通勤ノモノ多キ爲分婉ニ關スル給付金ノミニテモ六萬八千七百九十六圓ニ達シ一面又保險料ノ收入減少ノ爲昭和五年度ノ收支ニ於テ十一萬七千四百四十四圓(事務費ハ含マズ)ノ不足額ヲ生セリ